



介護と予防 パーキンソン病と
福祉用具の選定ポイント③ 住環境整備編

今回もパーキンソン病の症状と、それに伴う選定ポイントについてご紹介いたします。

パーキンソン病は脳内でドーパミンという物質が減るために、脳から体への指令がうまく伝わらなくなる進行性の病気です。

パーキンソン病の4大症状

1 振戻

手足が規則的に震える



2 筋固縮(筋強剛)

関節を動かすと抵抗感を示す



3 無動

動きが鈍くなり一つの動作開始に時間がかかる



4 姿勢反射障害

転倒防止が困難



その他にもパーキンソン病では次のような特徴がみられがちです

不安・不快・緊張などの状態だと体が動きづらくなる



安心・快適・リラックスなどの状態だと体が動きやすくなる



動作のきっかけがあると“体が動きやすくなる”という特徴があります。

例えば…
目印があると歩き出しやすい
ないと一步目が出にくい



そのため、このような配慮が必要でしたね

姿勢が崩れると戻せず
転倒しやすいので
開き戸よりも
引き戸が有効



座位が不安定になりがちな便座の上では、
体を両側から支える
トイレ手すりが有効



不安、不快、苦手などの感情を持ちにくい
入浴環境整備

シャワーチェア

やわらかく、
冷たさを感じにくい
クッション



すべり止めマット

転倒防止だけでなく、「すべるかも」という恐怖心も軽減



では今回は室内の環境整備について
ポイントをご説明しましょう。

就寝環境



- ベッドの方が、床に敷いた布団よりも立ち座りしやすくなります。
- 端座位姿勢（ベッドなどの端に座った姿勢）が崩れにくいよう、
- 端がかかるためのマットレス
- ベッドグリップなどの支え

があるとよいでしょう。

方向転換時に転倒リスクがあるので、ベッドの位置を変えることも有効です。



どうしても方向転換の必要がある場合は、

- 支えとなる手すりなどを用意し
- できるだけ方向転換の角度をゆるやかにするとよいでしょう。



ソファ



ソファはやわらかいので、座位姿勢が崩れやすく、立ち上がりもしづらくなりがちです。



面タイプの手すりを置くと、握らずにリラックスして姿勢を保ちやすく、立ち上がりやすくなります。

玄関

スロープだと
一步目が出にくい

段だと
足が出しやすい



段の方が歩き出しやすいですが、転倒に備えて動線に手すりを用意しましょう

パナソニックの玄関手すりは

- 工事不要で置くだけで設置可能
- 手すりの角度を起こせるので、脇をしめて昇降しやすい



脱衣場



ソファはやわらかいので、座位姿勢が崩れやすく、立ち上がりもしづらくなりがちです。



写真的商品は、折りたたみ可能な面手すりスタンディ

●衣類の脱ぎ履きの際にふらつき、転倒する危険性があるので、手すりなどの支えを用意しましょう。

●タオルバーを支えにしがちですが、そこまで強度がないので要注意です。

●脱いた衣類を拾うときの立ち座りには、面のある手すりを使うと

- 力を入れやすく
- 動作も安定しやすく
- 安心感もあります



狭い場所などにはコンパクトなタイプもありますよ

すっきり手すりクリンディ



詳細は
「介護・生活快適商品カタログ2018-2019」
をご覧ください。

ご用命は

上記品揃え以外も取り揃えております。

次回は

COPD

※慢性閉塞性肺疾患

(肺機能の低下で呼吸がしづらい症状)

パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

法人のお客様 製品・在庫に関するお問合せ TEL06-6908-8141
個人のお客様 製品に関するお問合せ

0120-365887 受付 9:00~12:00/13:00~17:00
時間 (土、日、祝日休み)

このチラシの記載内容は2019年6月現在のものです。